

## 寅さん歩 その 23

### 東京の博物館めぐりー21



#### 墨田区ー2

平野 武宏

墨田区の博物館めぐりの続きです。閉館中だった多くの博物館は新型コロナウイルス拡大防止の対策を実施して再開館しました。今回は東京スカイツリーより北のエリア（向島・東向島）です。写真右上は向島の面影が残る見番通りの風景です。区内に多くある博物館（記念館・資料館・展示館等を総称します）から寅次郎の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。各博物館の詳細を知りたい方は各博物館のホームページをご覧ください。入場料の記載なしは無料で、最寄り駅は代表例と出口です。

バーチャルウォーク「中山道六十九次」の途中経過も報告します。

〔東武博物館〕 墨田区東向島 4-28-16

最寄り駅 東京スカイツリーライン 東向島駅

東武鉄道創立 90 周年の記念事業として 1989 年（平成元年）5 月 20 日、東武鉄道の高架下（上は東向島駅）に開館。再開館では 3 密を避け 5 組、250 名の入場制限を実施。7 月 31 日（金）の 11 時頃に訪問の寅次郎は 17 番の札をもらい入館。2/3 は子供さんでした。入口（写真下左）を入るとすぐに蒸気機関車（写真下右）が目に入ります。明治 32 年（1899 年）の北千住・久喜間の開業に先立ち明治 31 年英国ペローピーコック社製の機関車を 12 両輸入した 5 号機関車の 1 両で当時としては大型で長距離用。昭和 40 年（1965 年）まで伊勢崎線の貨物列車を牽引、展示のために復元。1 日 4 回の SL ショー（約 3 分、汽笛が鳴り車輪が回転する）があります。



博物館の魅力その1は東武電鉄で実際に使った蒸気・電気機関車、電車、バスの展示(外の展示を含めて12両)です。魅力その2は実物の運転台で東武電車の運転が無料で出来る「運転シミュレーション」(写真下左)です。寅次郎も体験しました。東武の各種電車が走る「パノラマショー 東武鉄道の1日」(約12分、1日5回)も子供たちと一緒に見る事が出来ました。(写真下右)



開館は11時(通常は10時)~16時30分、休館日は月曜日(祝日の場合は翌日)、12月29日~1月3日です。入場料は大人200円、子供(4歳~中学生)100円。

### 【すみだ3M運動 小さな博物館】

古くから「ものづくり」のまちとして発展してきた墨田区。「すみだ3M運動」は、小さな博物館(Museum)、すみだマイスター(Meister)、工房ショップ(Manufacturing shop)の3つの”M”を通じて、すみだの産業やものづくりの魅力を伝えます。



「小さな博物館」は 墨田区の「産業」や「文化」に関する製品、道具、文献・資料などのコレクションを工場、作業場、民家の一部で展示し、写真左の看板がかかっています。

向島エリアの「小さな博物館」を紹介します・

### 【羽子板資料館 押絵羽子板 鴻月】 墨田区向島 5-43-25

最寄駅 東武スカイツリーライン 曳舟駅

駅から水戸街道に出て左折、南に進み、鳩の街通りと交差する東向島一丁目表示を直進、次の道を右折すると右手にあります。寅次郎は東武博物館から水戸街道を歩きました。お店(写真下左)の人は不在でしたが、親子二代で押絵羽子板を作っていて、明治・大正・昭和の羽子板を展示・公開しています。

開館は木・金・土・日の10時～17時。10月1日～1月31日は休館です。



昔から女子誕生の初めてのお正月に無病息災で健やかな成長を祈り羽子板を贈る風習は各地に残っているそうです。また、男物を中心とした歌舞伎の舞台姿を写した羽子板も多く手掛けているそうです。

〔江戸木目人形博物館 塚田公房〕 墨田区向島 2-11-7

最寄駅 半蔵門線 押上駅（とうきょうスカイツリー駅）A3

桜橋通りと水戸街道の交差点「向島三丁目」を隅田川方面に行くと左角が塚田公房（写真右）です。見学は要予約なので、前日に電話で予約、何も知らない寅次郎に木目込みの説明（溝にのりを入れ、布を押し込む）していただきました。写真下は説明に使った動物の人形です。





1841年（天保12年）本所両国にて創業、本日説明された方は六代目です。時代布を使用したの衣装一点物のひな人形を主に製作、招き猫や干支、根付なども喜んでいただいているとのこと。製作体験（要予約）もできます。開館時間は10時～17時、休館日は日曜日・祭日と12月1日～3月15日です。

〔漆工博物館 安宅漆工店〕 墨田区向島 3-38-10

最寄駅 半蔵門線 押上駅（とうきょうスカイツリー駅）A3

見学は要予約ですので前日に電話して伺いました。奥様が対応してくださり、「漆工」についての説明をしていただきました。漆塗りは長い年月を経てもその重厚な艶や優美さは失わない日本が世界に誇る技術です。安宅工房では多くの有名な寺院や私邸も手掛けてきたそうです。心豊かな空間を創る建築の漆工を中心に花瓶、花台などのオリジナル作品も製作しています。この道一筋の確かな技で修理、修復、お誂えにお応えしているとのことでした。



写真上は年季の入った道具です。開館は火・木・土曜日、10時～17時（事前に予約連絡を）、休館日は月・水・金・日曜日です。

つる花瓶の絵付け体験（要予約）も行っているとのこと。

## 〔こぼれ話〕 墨田技人 墨田区伝統工芸保存会

東京スカイツリータウン ソラマチ 5階のすみだまち処実演ブース「技人」で「墨田区伝統工芸保存会」を知りました。1978年(昭和53年)「物作りは文化である」と考える異業種の工芸職人13名が集まり、伝統職人技術の保存、発展、認識向上を目的に発足しました。「技人」では週ごと(水曜日から翌週火曜日)に入れ替わる職人たちによる実演が年間を通して披露されています。

写真下左のパンフレットには19職種、27名の職人の方が掲載されています。

写真下右はソラマチ5階のすみだまち処ブースで、訪問時の担当は桐たんす二葉桐工房でした。

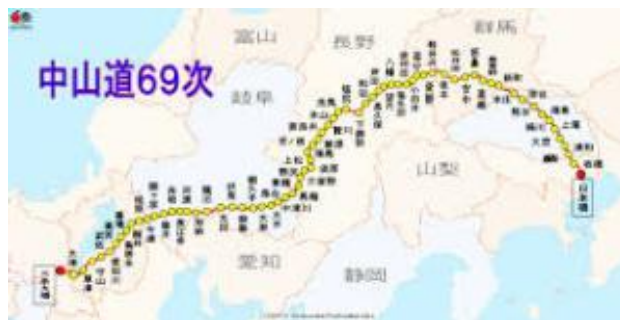


## 〔バーチャルウォーク途中経過〕

八柳修之さん作成の多くのバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「中山道六十九次」に挑戦

です。7月7日、日本橋を出立し、8月30日、日本橋から28番目の和田宿の手前まで来ました。

中山道最大の難所の和田峠を控え次の下諏訪宿までは長丁場のため(約22km)多くの旅人が和田宿を利用しました。1861年(文久元年)



3月の大火で宿場の2/3が焼失しましたが、皇女和宮の降嫁での宿泊地となったため11月までに本陣(写真下左)や宿場を再建したとのこと。

写真下右は木曾街道六拾九次 和田（歌川広重画）です。



しばらくは例会がお休みですので、自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。FWAのHP「YR・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バーチャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。歩く際は密閉・密集・密接の3密にならないようご注意ください！

また、ウォーキングで人との距離(2m以上)が確保できる場合はマスクを外して、熱中症にご注意ください！

次回は 東京の博物館めぐり-22 です。

平野 寅次郎 拝